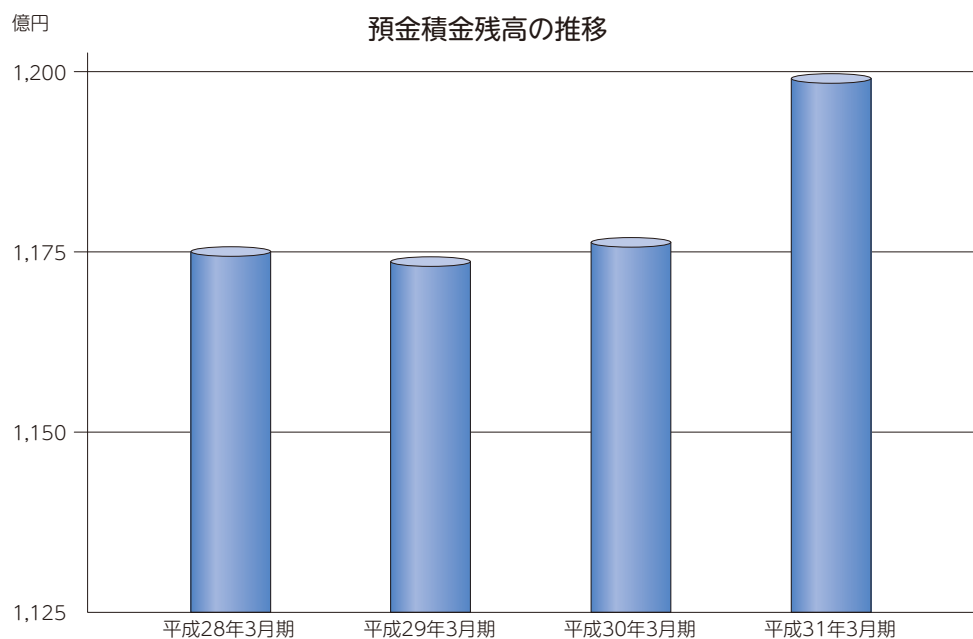


平成30年度の事業概況

平成30年度は第2次経営強化計画の2年目として、引き続き地域の皆様への安定的な金融仲介機能強化と収益性改善に向け、役職員が一丸となって取組んでまいりました。このような中、貸出金は引き続き大幅な増加となるとともに、預金についても平均残高ベースで増加に転ずることができました。この結果、貸出金利収は前年比増加することができたものの、市場金利の低迷等により余資運用収益が大幅に低下したことにより、資金利益は20百万円の減少となりました。しかしながら経営の効率化等に努めたこと等により、「コア業務純益」は180百万円を確保することができました。なお、当期純利益は、お取引先の事業改善や事業再生等への取組み等により、386百万円となりました。これからもお取引先の皆様への感謝の気持ちを第一に、より一層信頼される金融機関となるべく役職員全員で取組んでまいります。

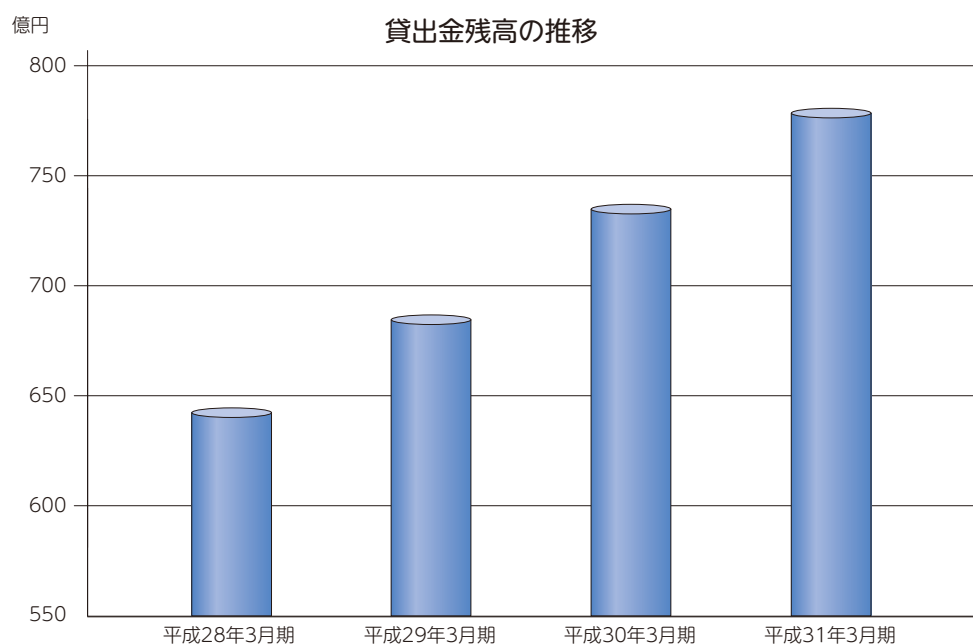
(1) 預金

平成30年度の期末預金残高は、1,199億円と前期末比23億円の増加となりました。



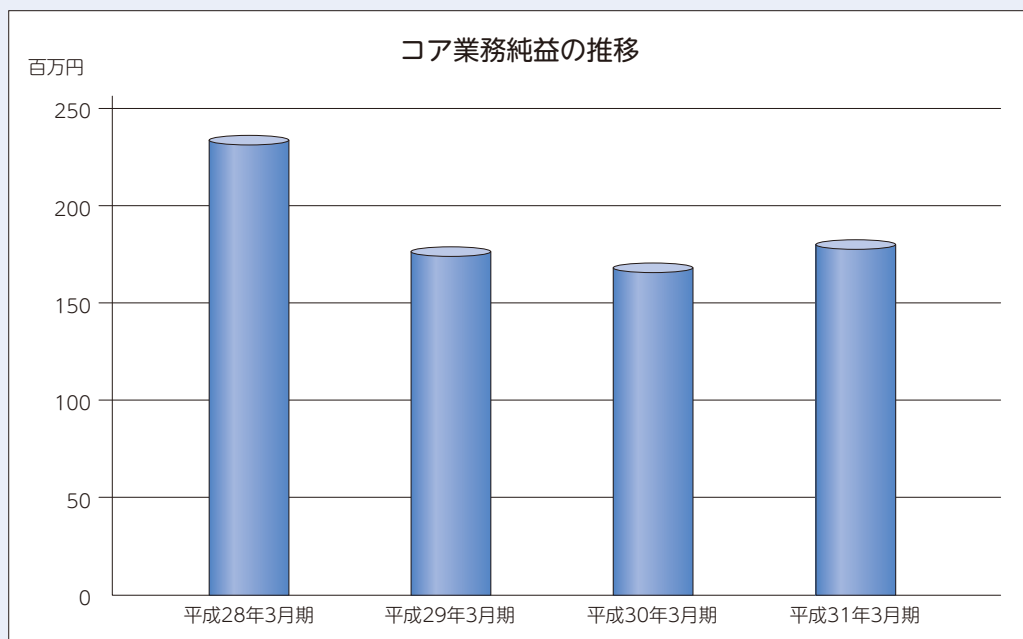
(2) 貸出金

役職員一丸となって、推進活動に努め、貸出金期末残高は、前期末比50億円増加の785億円となりました。



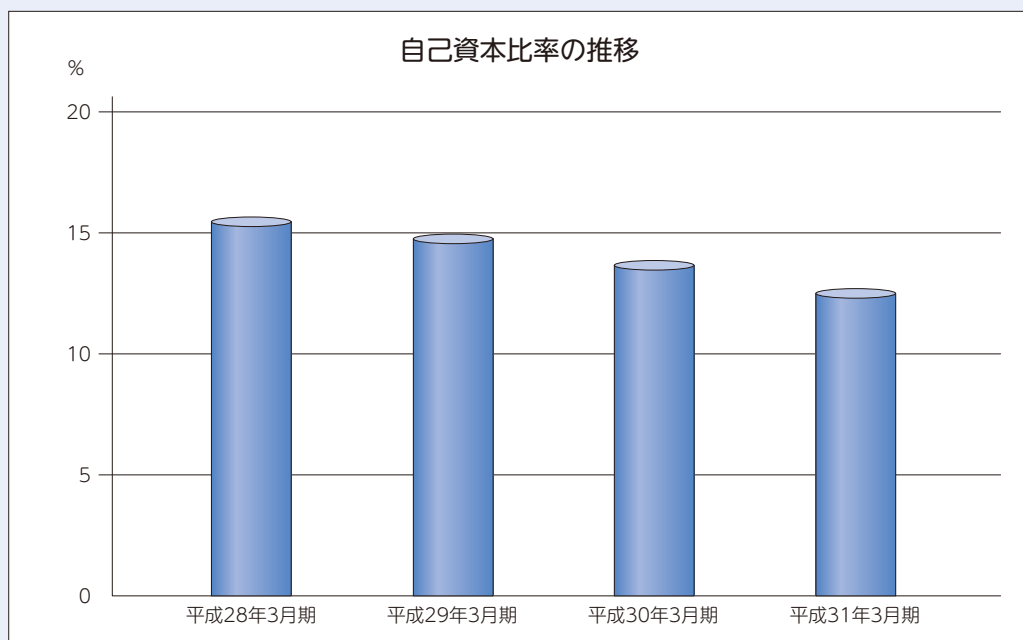
(3)コア業務純益

市場金利の低迷等により、資金利益は前年から減少となりましたが、貸出金の増強と経費削減に努めたことより、「コア業務純益」は180百万円を確保することができました。



(4)自己資本比率

平成26年12月に公的資本90億円の注入を受けており、平成31年3月期の自己資本比率は12.50%と、健全性の基準である4%を大幅に上回っております。



主な経営指標の推移

(金額単位：百万円)

	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
預金積金残高	117,505	117,363	117,635	119,952
出資金残高	8,116	8,095	8,082	8,083
貸出金残高	64,225	68,610	73,508	78,591
有価証券残高	24,470	24,860	25,214	29,505
資金利益	1,712	1,656	1,624	1,604
業務純益	522	182	150	179
コア業務純益	230	179	168	180
当期純利益	449	333	367	386
単体自己資本比率(%)	15.68	14.95	13.66	12.50